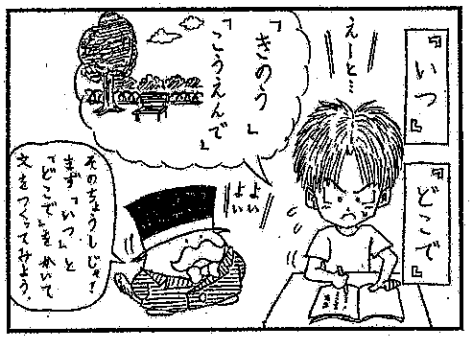
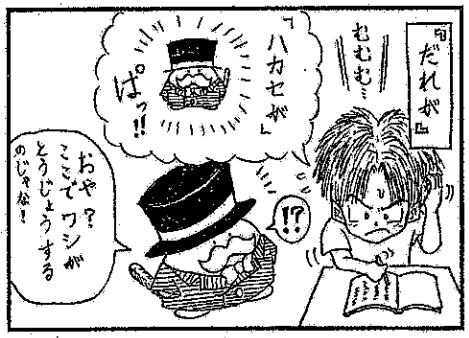
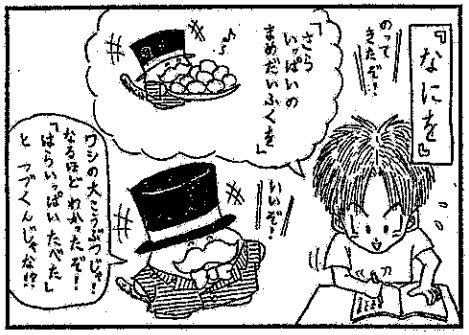
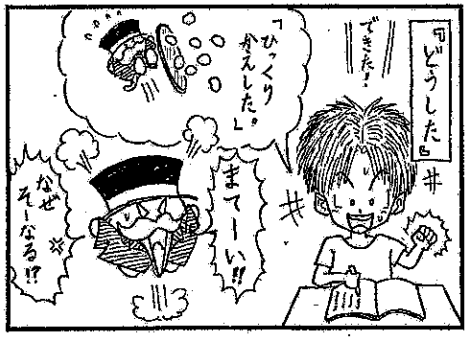








～～ 文作りの書 ～～

★言葉をつないで、くわしい文に！

漢字のノートには、学習した漢字を使って「文を作りましょう。」という課題があります。子供たちは思い思いの文を作るのですが、やはり文を作るという活動は難しいようです。得意な子は実に詳しい文を作り、苦手な子は単語、もしくは短い文になってしまう傾向にあります。文作りは自由な表現力の第一歩！文作りを恐れず、いざ挑戦！

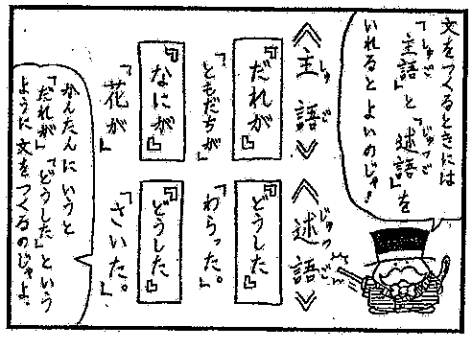
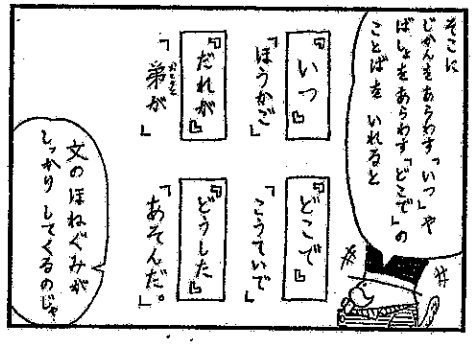
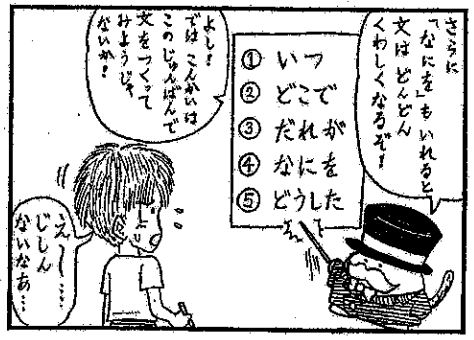
1．新出漢字を使って文を作ろう！

ここで、「友」という漢字を使って、文を作ってみましょう。
よくある文作りの例をご紹介します。

例①　友だち　←言葉はできているが、文にはなっていない。
例②　友だちと遊んだ。　←文にはなっているが、主語がない。
例③　ぼくは友だちと遊んだ。　←主語と述語がある文になっている。

2．「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」を使って詳しい文に！

「いつ」（時間を表す言葉）、「どこで」（場所を表す言葉）、「だれが」（主語）「どうした」（述語）を使って、文を作ってみましょう。

例④　昨日みたけ公園で、ぼくは友だちと遊んだ。

このように、言葉を上手につなげていくと、より詳しい文を作ることができます。日々の家庭学習で漢字ノートの文作りを練習すれば、年間でたくさんの文を書くことになります。子どもたちの作った文を、ぜひ読んでみてください。